

「かんたん工事写真帳3」で作成する工事写真帳で テンプレートファイルを活用する（その2）

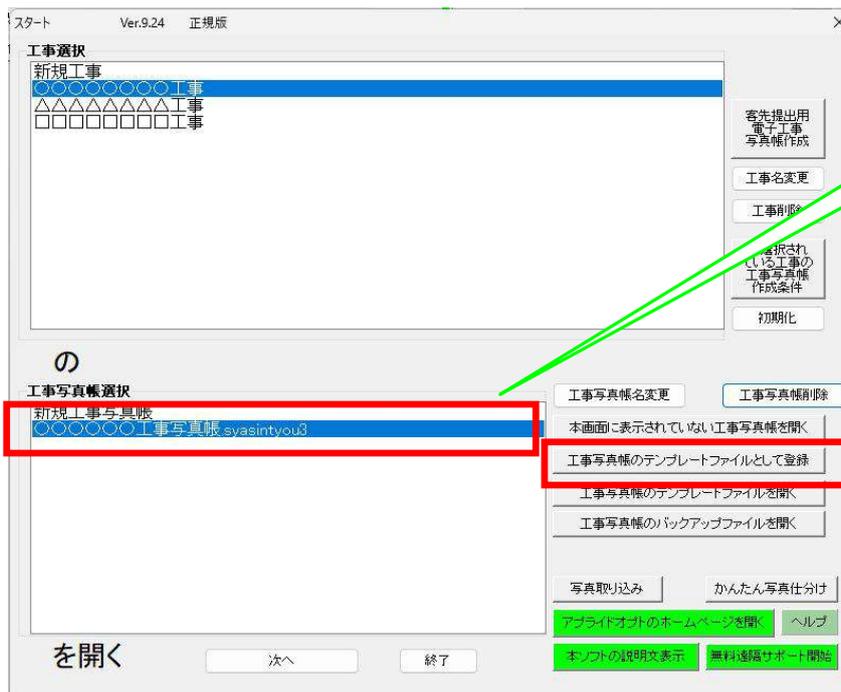
テンプレートファイルとは、作成済みのどの工事写真帳からも作成できるファイルであり、貼り付けた写真は記憶されていませんが、その他の各ページのデータはすべて記憶されていますので、作成済みの工事写真帳と似た工事写真帳を作成する場合は、このテンプレートファイルを利用すると、手早く工事写真帳を作成することができます。

通常の新規工事写真帳は、＜工事写真帳様式選択＞画面で様式を選んで、作成を開始します（これを以下“ケースA”と称します）が、これと新規工事写真帳をテンプレートファイルを利用して作成を開始する場合（これを以下“ケースB”と称します）との違いを以下で記述します。

今後も似たような工事写真帳を作成する可能性があると思った場合は、工事写真帳の骨格ができ、これから汎用性のないデータを入力する段階に入ると言う時点で、それに名前を付けて保存し、それを元にして、下記の操作によってテンプレートファイルを登録してください。

	“ケースA”	“ケースB”
各ページの様式	どのページも同じ	各ページの様式は元の工事写真帳の通り
コメント	入力欄があるだけでコメントは未入力	各ページとも、元の工事写真帳で入力されたコメントが、そのまま記憶され残っている
描画要素	各ページ特有の描画要素はない	各ページとも、元の工事写真帳で追加された描画要素がそのまま記憶され残っている

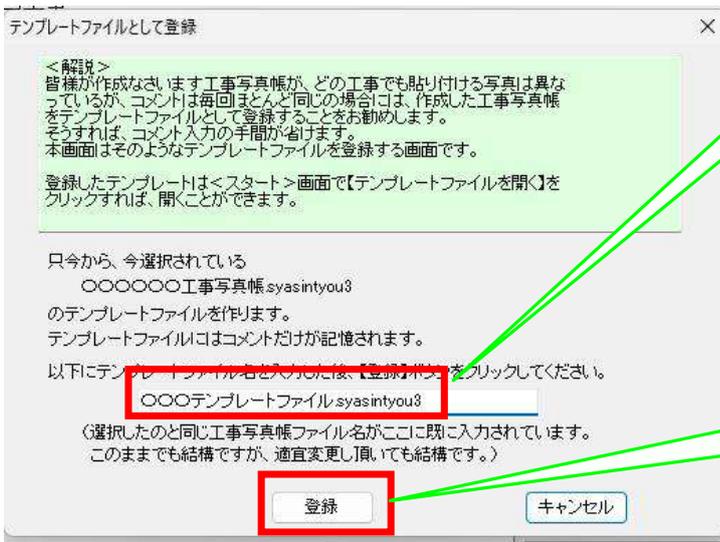
以下でテンプレートファイルの作り方とその利用の仕方を説明します。



＜スタート＞画面で元となる工事写真帳を選択します。

その上で
【工事写真帳の
テンプレートファイル
として登録】
をクリックします。

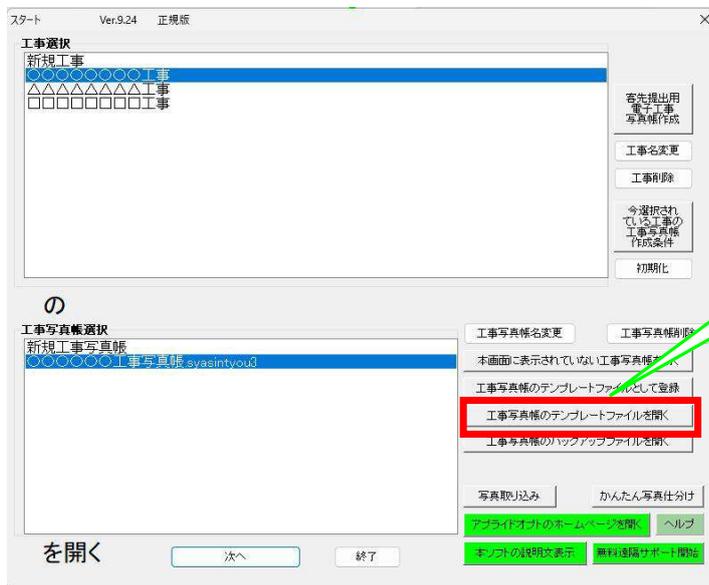




表示されたこの画面で、登録するテンプレートファイル名を入力します。

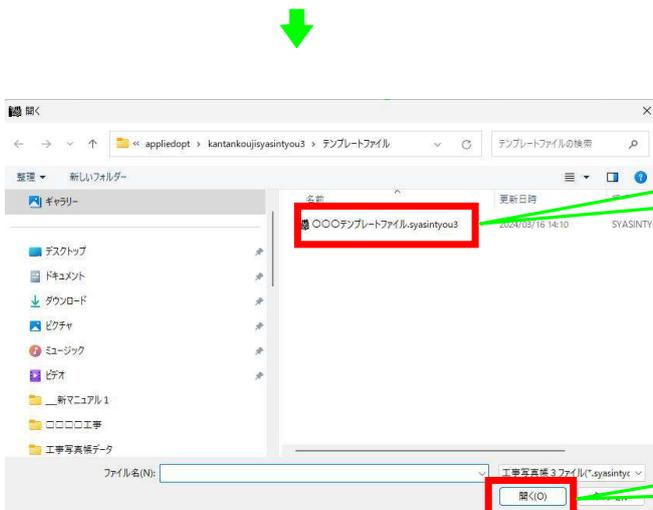
その上で、【登録】ボタンをクリックします。

以上の操作でテンプレートファイルとしての登録は完了しました。



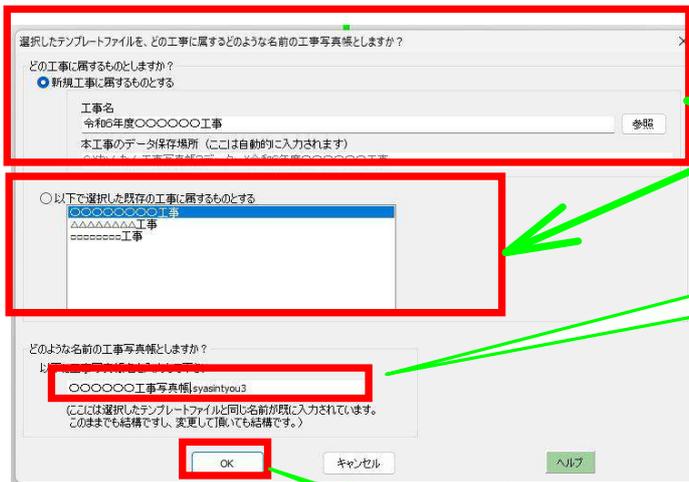
次に、テンプレートファイルの利用の仕方を説明します。

まず、<スタート>画面で【工事写真帳のテンプレートファイルを開く】をクリックします。



希望するテンプレートファイルを選択します。

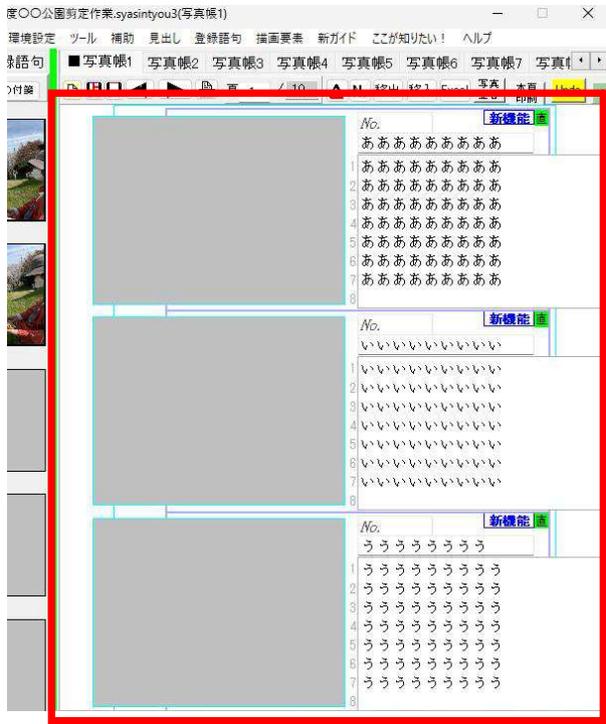
その上で【開く】ボタンをクリックします。



するとこの画面が表示されますので、これらのいずれかを選択した上で今回作成する工事写真帳の保存先である工事名を指定します。

次に、今回作成する工事写真帳のファイル名をここに入力します。
今回は
○○○○○○○工事写真帳
. syasintyou3
と入力しました。

その上で
【OK】ボタン
をクリックします。



以上の操作によって、このような工事写真帳が新規に作成されました。

コメントの所は、過去に作成した工事写真帳と同じものが入力済みですので、新たに撮影した工事写真を貼り付けるだけで、工事写真帳は完成します。

以上でこのコースの説明を終了します。